

防災フェアなりた&amp;救急キャンペーン2007

## いざというときのために

イオン成田ショッピングセンターを会場に「防災フェアなりた」と「救急キャンペーン2007」が9月8日・9日の2日にわたって開催されました。AED(自動体外式除細動器)の使い方や心肺蘇生法のデモンストレーション、防災・救急関連用品の展示、耐震相談など、いざというときの事態にかかわるさまざまなコーナーが設けられ、多くの人が足を止めていました。救急救命士の指導による応急手当の体験にも多数の市民が参加し、救急に関する意識の高さがうかがえました。



さまざまな展示が



AEDの使い方を体験



緑豊かな環境に建つ成田分館(駒井野1705-3)

※開館日時は第1・3土曜日(12月の第3土曜日と年末年始を除く)の午前10時～午後4時。

日本近代文学館成田分館

## 成田ゆかりの 歌人の蔵書も所蔵

夏目漱石や森鷗外といった文豪たちの原稿や遺品などを数多く所蔵している、東京都目黒区にある日本近代文学館。その分館が9月15日、駒井野に開館しました。ここには成田ゆかりの歌人である水野葉舟の蔵書などが所蔵されています。これを記念して成田山書道美術館(☎24-0774)で日本近代文学館所蔵資料の展覧会が10月21日(日)まで開催されています。(入館料500円)問い合わせは日本近代文学館(☎03-3468-4181)へ。

川上小おやじの会

## ひんやり楽しい そうめん流し

「川上小全児童のおやじ」として日ごろ学区児童の健やかな成長のために活動している「おやじの会」が、8月25日に「そうめん流し大会」を開催しました。これは同日実施された廃品回収に協力した地区住民や川上小の子もたちに、労働の後の昼食に冷たいそうめんをごちそうしようといわれたものです。同会は前日、丸一日かけて全長50メートル以上の流し台を川上小校庭に作成。当日は約150人が参加する盛況振りでした。



全長50メートル以上のながーい流し台

## 16チームが熱戦を展開

今年で13回目を迎えるミニバスケットボール交流大会が9月9日、市体育館を会場に開催されました。当日は、成田市近隣のスポーツ少年団に加入する、男女各8チームが参加。試合では、フェイントを駆使した素早いドリブルで相手チームのディフェンスを抜き去ったり、一瞬のすきをつけてボールを回しシュートにつなげるなどの軽快なプレーが続出。子どもたちは日ごろの練習成果を存分に発揮し、真剣な表情でボールを追いかけていました。



ゴール下からのジャンプシュート



弥生土器



市指定文化財の埴輪

成田市下総歴史民俗資料館がリニューアル

## 旧成田市・旧大柴町の土器や埴輪を新たに展示

下総歴史民俗資料館が、稲荷山久井崎Ⅱ遺跡出土の縄文土器や南羽鳥タダメキ第2遺跡出土の弥生土器、南羽鳥正福寺遺跡出土の埴輪などを追加展示し、リニューアルオープン。収集地域を市全域に拡大し、名実ともに新市の歴史民俗資料館となりました。今月23日(火)からは、企画展「下総・青柳家の資料にみる成田の近代史」が行われます。(1月27日(日)まで)

成田市統計グラフコンクール

## 市長賞に佐藤祐希さん

成田市統計グラフコンクールに市内の小中学生68人から58点の作品が寄せられ、この中から特別賞4点、金賞20点が選ばれました。

特別賞の受賞者は次のとおりです。

- 市長賞 佐藤祐希さん(中台小5年)
- 議長賞 鈴木万莉奈さん(豊住小5年)
- 教育長賞 高橋美凧さん(加良部小1年)
- 統計研究会長賞 松井里菜さん(美郷台小6年)

応募されたすべての作品は、千葉県統計グラフコンクールに出品されます。



市長賞を受賞した佐藤祐希さん